

乳幼児医療費給付制度 所得制限の撤廃を 初の一般質問を行いました



2007年10月7日
第12号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺ゆり子
<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365



県議会九月定例会で26日、初の一般質問を行いました。その概要をお知らせします。

乳幼児医療費給付制度について

【問い】「昨年、県は制度変更し第三子や低年齢児に特化した内容とする一方、所得制限を厳しくし、七〇〇人以上の子どもが対象外となった。その後、県内の市町村は、就学前の所得制限なしや完全無料化など積極的な独自上乘せ策をとる自治体が増えている。『子育てするなら山形県』をかかげるなら、県としても所得制限を撤廃し、子育て世代の期待にこたえるべき」

【知事答弁】「現在、アンケートや聞き取りによる検証を行っており、各方面の意見を聞き検討していきたい」

私学助成の充実について

【問い】「私立高校の一般経常

費助成は、二年連続で削減され、全国の中でも急激な低下となっている。授業料引き上げにつながる懸念があるので、〇五年レベルまで経常費助成を引き上げるべき」

【知事答弁】「授業料助成は、引き上げているので、合わせてみてほしい」

【問い】「授業料減免については、対象者を拡大したか思ったように伸びていない。その推進は？」

【教育長答弁】「指摘の通りなので、各学校を通じてさらに制度の周知やPRにつとめて推進していきたい」

置賜農業共済下正問題について

【問い】「99年のぶどうの架空共済加入が明らかになったが、指導する県の常例検査はどうだったのか？日本共産党県議団は、ラ・フランスでも不正があったことを確認したが、ぶどう以外

にはなかったのか。当時の記録は確認できたのか。いつ調査結果が報告できるのか」

【農林水産部長答弁】「現在調査中で、全体が確定した段階で報告したい」

最上小国川の治水対策について

【問い】「赤倉温泉の洪水対策として、上流にダム建設の計画が進められている。治水対策の計画規模となる基本高水量の設定が過大ではないか？ダムに頼らず地域の活性化も含めた総合的な治水対策が必要であり、河道改修に関わる温泉への影響調査をすべき」

【土木部長答弁】「基本高水量は、学識経験者も交えた流域委員会での議論を経たもので過大ではない。河川改修も含めて検討してきており、今後も地域や関係者の声を聞きながら、必要があれば協議・検討していく」

質問を終えて

市議会とは違う県議会での初質問、緊張の中でも寄せられた声を代弁して行うことができ、ほっとしています。

傍聴した方々からは、「わかりやすかった」との感想をいただきうれしい限りです。私自身も未知の世界の治水対策やダム問題があり、苦勞しました。何回か現地に行って調査したり、専門家の力も借りて勉強しました。

乳幼児医療費や私学助成では、この間要望を寄せて下さった方々の顔を思い浮かべながら当局にぶつけました。

ご協力いただいた方々に心から感謝です。ありがとうございました。

今後も引き続きもっと迫力のある議会発言ができるように、また要望実現の運動を広げていけるように力を尽くしていきたいと思っています。

秋の行事で大忙し

この間、中間地方選挙応援が次々と入りました。現在は、村山市議会議員選挙（14日告示）の日本共産党2議席獲得に向け、力を尽くしています。そんな中でも、秋空のもと、いも煮会や文化祭などが行われており、楽しみのひとつです。町の芸術家の作品にびっくりしたり感動したり、「え！あの方がこんな趣味をもっていたの」と新しい発見もあります。実りの秋ですが、精神の方も充実したいものです。みなさんも、それぞれのやり方で山形の秋を楽しみましょう。

